

2021年3月8日

**電池サプライチェーンの国際競争力強化を推進する新たな関連団体
「電池サプライチェーン協議会」の加入について**

株式会社田中化学研究所は、電池サプライチェーン（電池の材料、部品およびその原料に関わる産業）の国際競争力強化を推進する新団体「電池サプライチェーン協議会（以下、BASC）」（会長：阿部 功（住友金属鉱山(株) 執行役員））に加入することを決定しました。これは、2021年4月1日に一般社団法人として設立される、脱炭素社会実現に向けて電池サプライチェーンの国際標準化や電池エコシステム構築等の活動をする新団体 BASC に当社が会員として参加するものです。

<加入団体の概要>

- ・団体名称：一般社団法人 電池サプライチェーン協議会
(英語表記：Battery Association for Supply Chain; BASC)
- ・設立：2021/4/1
- ・目的：電池サプライチェーンの健全な発展を図る
- ・会員：当社含めた電池サプライチェーン関連企業 約30社（設立時点）

脱炭素社会の実現に向けた動きは、現在、全世界でますます加速されています。このような地球規模の課題は当社の経営理念とも合致することから、当社は、これからの脱炭素社会実現に貢献するべく、その志を共にするBASCの仲間とともに積極的に取り組んで参ります。

なお、BASCの詳細は、本PDFデータの2枚目以降をご参照ください。

BASC WEB サイト url : <https://www.basc-j.com/>

電池サプライチェーン協議会(BASC)について



**Battery Association
for Supply Chain**

2021年3月8日

1. 設立の背景①

世界各国で脱炭素社会に向けて電池に係わる取り組みが加速

欧州

- ・欧州バッテリー指令の公表（2020年12月）

中国

- ・リチウムISO規格の技術委員会（TC）の
幹事局として主導（2020年）
- ・電池資源確保に向けたアグレッシブな投資拡大

米国

- ・電池含む重要部品のサプライチェーン見直し表明（2021年2月）

日本

- ・2050年目標 CO2排出実質ゼロ宣言（2020年10月）

1. 設立の背景②

国内電池サプライチェーンに係る当面の課題

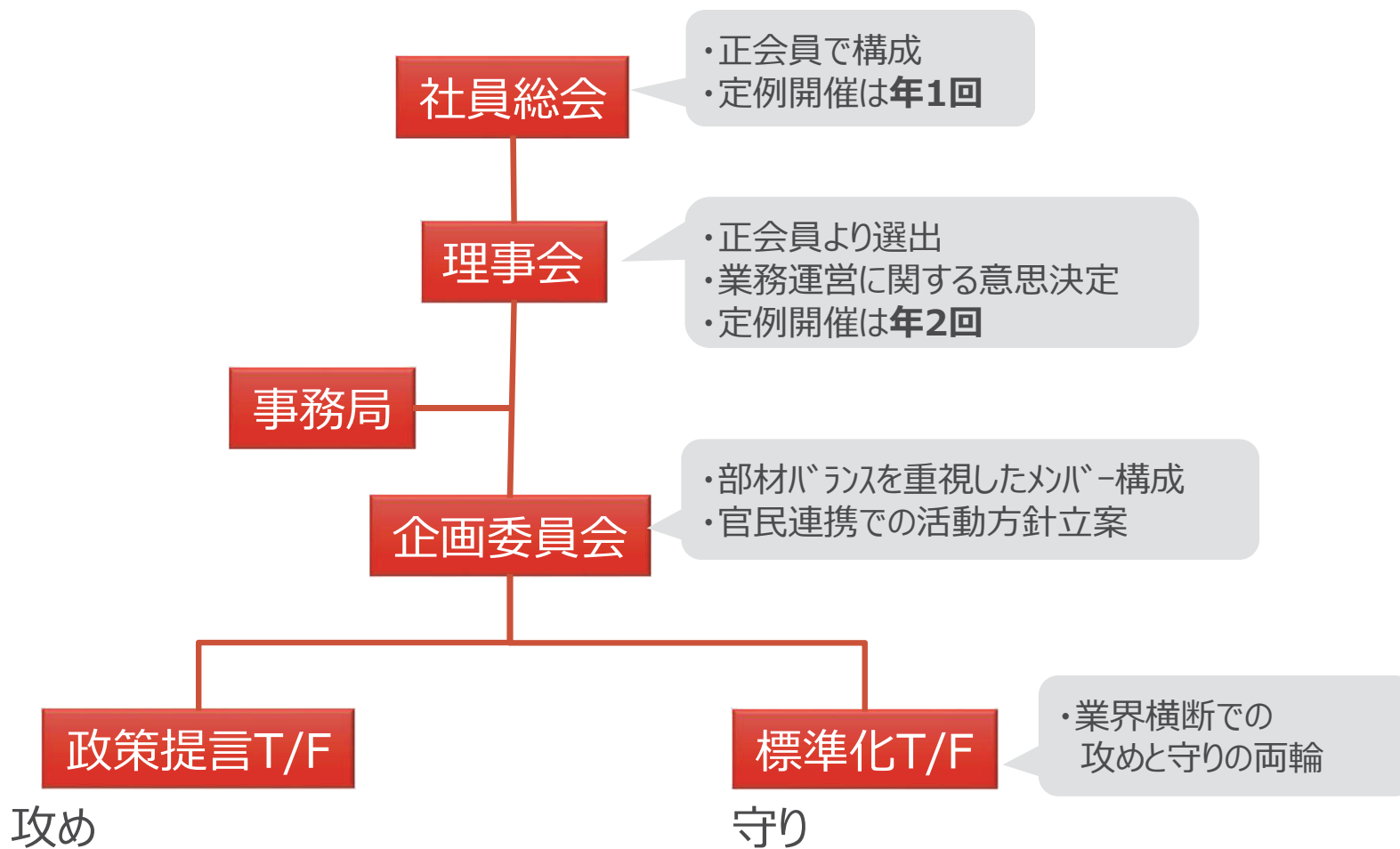
- ・電池サプライチェーンの標準化に対し、国内審議団体が無い
- ・サステイナブルな電池エコシステム構築が急務
- ・電池サプライチェーン産業 グローバル競争激化

➡ 上記の課題解決のため、横断的な団体が必要

2. 団体概要

<p>目的</p>	<p>電池材料、部品及びそれらの原料の工業及びサプライチェーン関連産業の健全な発展を図る</p>
<p>団体名</p>	<p>一般社団法人 電池サプライチェーン協議会 (英文名：BATTERY ASSOCIATION FOR SUPPLY CHAIN 略称：BASC)</p>
<p>設立日</p>	<p>2021年4月1日(予定)</p>
<p>設立形態</p>	<p>一般社団法人</p>
<p>会員 (50音順、 敬称略)</p>	<p>出光興産、岩谷産業、宇部マクセル、MUアイオニックソリューションズ、GSユアサ、昭和電工マテリアルズ、住友金属鉱山、セントラル硝子、大日本印刷、田中化学研究所、豊通リチウム、日亜化学工業、日本化学産業、日本触媒、パナソニック、阪和興業、ビークルエナジー・ジャパン、富士発條、プライムアースEVエナジー、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、本田技研工業株式会社、三井金属鉱業、三井物産、三菱ケミカル、三菱商事、明和産業、森田化学工業、UACJ</p> <p style="text-align: right;">28社(2021年3月4日時点)</p>

3. 組織体制



4. 活動内容

攻め

政策提言T/F

- 国際競争力強化
- 電池エコシステム構築
- カーボンニュートラル実現

守り

標準化T/F

- 国際標準審議
- 新規標準立案

電池サプライチェーン産業全体の健全な発展

5. 会員企業様

